

學大科法學大國帝都京

# 叢論濟經

號一第 卷四第

行發日一月一年六正大

## 論說

官業問題ニ就キテ(一).....	法學博士 神戸 正雄
體質廢頽問題(二).....	法學博士 財部 靜治
戰時ノ我輸出品ノ粗製濫造(二完).....	法學博士 戸田 海市
消費ニ關スル學說ノ發達(二).....	瀧本 誠一
經濟心理學ノ組織的研究(二).....	米田庄太郎
米券倉庫ヲ論ス(二完).....	法學士 河田 嗣郎

## 雜錄

賤民名稱考.....	文學博士 新村 出
女ニ子ヲ生マス政策.....	米田庄太郎
原始亂婚ニ就イテ.....	文學士 高田 保馬
寶曆ノ豫算.....	法學士 本庄榮治郎
歐洲ニ於ケル工場監督機關ニ就テ(二完).....	..... 山本美越乃
經濟雜話(七).....	法學博士 田島 錦治
戰後ニ對スルニ大準備.....	法學士 河田 嗣郎
新著紹介及ビ寄贈書目.....	.....

# 體質廢頹問題(二)

財部 靜治

本論文ハ「金井教授在職二十五年記念最近社會政策」ニ登載ヲ請ハンカタメニ昨年三月中大體脱稿シタルモノナリト雖モ同書原稿ハ切リノ間際ニ至リ眼疾ノタメニ添削ヲ加フルノ意ヲ果サス金井先生在職祝賀ノ微志ヲ表セントスルノ意切ナルハ依然タリ稍意ニ滿タサルコトモ亦依然タリト雖モ機ヲ逸スルヲ恐レ今之ヲ本誌ニ投ス。

桂川ノ鮎ハ古來珍味ヲ以テ天下ニ許サレシモ開化ノ産物タル一工業會社ハ起リ河水ニ有毒物ヲ流下セルカタメ鮎ノ成育蕃殖ハ害セラレントス凡ソ文明ノ機械的世相ニヨリ活物ノ生々ヲ害スルノ例ハ獨リ之ノミニ止ラス人間ニツキテモ亦開化ハ其體質ヲ廢頹セシムトノ論夙ニ起レリ橫綱初代明石志賀之助ノ身尺七尺餘體量四九貫タリシモノ其二代風谷五郎ハ五尺九寸五分ノ身長三一貫ノ體量ヲ有セルニ過キスト<sup>1)</sup>ハ好角家ノ間ニ起サルル歎聲ナリ而モ亦カカル歎聲ハ獨リ好角家ノ間ニ止マラス富國強兵ヲ論スル人々ノ間國民ノ體質廢頹ヲ憂フル人少キニ非ス近年「社會的國民教育一名青年義勇團」ノ一書ヲ著ハセル陸軍中將田中義一閣下ノ如キ其一人タルニ似タリ特ニ我が國民殊ニ青年就中學校生徒ノ體力カ近來著シク衰耗ニ傾キツ、アルコトヲ主張セラル<sup>2)</sup>吾人モ亦一片ノ感想ヨリセハ近來民間ニ美衣美食ノ風漸ク蔓延シテ體質ノ劣惡ヲ増スモノノ如ク觀想ス

論說 體質廢頹問題(一)

第四卷 (第一號) 一七

1) 今姑ラ大正五年三月二日大阪毎日新聞所載仁丹廣告ニヨル  
2) 同書一三頁一一頁并ニ附表參照

ルモノナク近日卑牧子ノ著厩馬新論(嘉永七年刻)ヲ繙キ

菽葉大豆稗ハ馬ノ美食ナリ人ナレハ白米鮮魚リマキ味嗜汁ヲ嗜フカ如シコレヲ例フレハ大祿高位ノ人カ豪富ノ者ノ常ニ膏粱美味ニ飽キ穢ヲ重レハ智慧モイツシカ味ヲナリ身モ力モ衰ヘテ天死スルカ如ク美食スル馬ニハ必ス病馬カ多キモノナリ荷馬百姓馬借馬ナトハ鹿食シテ日々ニ重荷ヲ負フテ遠路ヲ往來シ或ハ日毎ニ田地ヲ返シマタ借馬ナトハ地乘カケノ差別ナク日ニ四五十鞍カケテモ疲レモセス決シテ病馬ニモナラヌナリ

ト説クルノ一節ニ及ヒ馬ノタメニ説クカ人ノタメニ誠ムルカト疑ヒツ、アリ而モ亦少シク立入りテ問題ノ本質ヲ伺フニサ程單純ナル解決ヲ許ササルニ似タリコレ本論アル所以ナリ。

二

體質廢頹問題ヲ論評スルニ先チ吾人ハ先ツ其意義ヲ限定セント欲ス乃チ輒近先進國ニ於テ種屬

衛生 *Rassenhygiene* 社會衛生 *Soziale Hygiene* 種屬改良 *Rassenreform* ヲ唱フル人々ノ用例ニ倣

ヒテ此語ヲ使用セント欲ス從ヒテ人ノ細胞、組織、器官ノ廢頹詳言スレハ「其定型ヲ離レテ發展シ過キタリ退却シ過キタリシテ並外レトナツタ者」ニ關セスシテ完全ト想ハレタル種屬ニ比シ體格上低能トナレルヲ指ス詳言スレハ「一群ノ人々ノ特定遺傳素質カ並ラシテ其堪能ヲ減セシタメ其生殖細胞ヲ本トシテ生ルル個體ハ外界ノ成育條件前ト大同小異ナルニ係ラス其身體ノ給付能力及衛生的抵抗力並ラシテ前代ニ比シ劣ルヲ謂フ之ト反對ニ前代ニ勝ル場合ヲ種屬改善トスヘキニ對シ種屬ノ改惡アリト言フヘシ。カクテ又(一)病理上、臨床上又ハ解剖上嚴正ノ意義ニ於ケル變質

3) 大澤謙二氏著結婚新説(明治四十二年)一七六頁參照  
 4) Vgl. W. Schallmayer, Vererbung und Auslese, 2. Aufl. 1910, S. 182; A. Fischer, Grundriss der Sozialen Hygiene, 1913, S. 152; A. Grotjahn, Soziale Hygiene und Entartungsprobleme, 4. Suppl.-Bd. des Handb. d. Hyg. v Th. Weyl, 1904, S.735.

Degeneratio ト必スシモ其意義ヲ同フセス、(2)又往々ニシテ醫學、人類學ノ專門知識ヲ蔑視シ之ヲ度外シテ自ラ得々タルカ如キ一部社會研究者ノ間ニ見ルカ如ク其語ヲ單純ニ低能ニ歸スル意ナリトシ尋常ニ悖レル偏倚詳言スレハ一個人ノ能力ヲ尋常以下ニ低下セシメ (Te ニ脱スル、Genusニ類又ハ尋常ノ意アリ。獨語 Entartung ナモ同様ニ語源のニ併セ考へ得ヘシ) 生存上其本分ヲ盡スニ不適當ナラシムルノ意ト解スヘキニ非ス其觀念上常ニ血族關係アル多數人ト祖先及後裔間ノ關係トヲ前提シ特ニ完全視サレタル尊屬ト比較シテ判斷サルル特殊廢頽ヲ指ス、尤モ子ノ其兩親ニ對スル變異ノ事實全般ニ亘リテ考フルコトトシ又其親ノ代ヲ隨意ニ完全ト想ヒ定メズ別ニ完全ノ標準ヲ選フコトトシ其標準ニ照スコトトセンカ種々ノ場合ヲ想像シ得ヘシ假令ハ Ploetz ニヨルニ偏倚ノ程度ハ時ニ親ノ代ノ平均以上ニ達スルコトアリ其際右ノ標準ニ照シ既ニ兩親モ不堪能ナリシトセハ其變異ハ廢頽タリ又假リニ兩親自身カ現ニ堪能ノ典型ヲ代表シタリトセハ其變異ハ漸進變異タリ又變異シテ兩親ノ平均以下ニ下ル場合ニハ同シク廢頽又ハ累退變異アリトセルモ其所説ハ未タ盡ササルニ似タリ蓋シ偏倚ノ度合トカ兩親ノ代ニ於ケル平均以下ニ下ル場合ニツキテモ其平均以上ニ達スル場合同様其兩親カ既ニ不堪能ナリシ場合ト然ラサル場合トヲ區別シ得ヘク就中前ノ場合ニハ廢頽ナクシテ寧ロ種屬改善アリトスヘケレハナリ又其變異ヲ仔細ニ考察スルトキハ身體上ノ一特質(假令ハ身長)ニツキ昂進又ハ減退アルモ此事實ハ他ノ資質(假令ハ體重)ノ堪能減少又ハ増加ニヨリ相

5) 坪井爲春氏譯羅氏醫語韻府五九百參照。大澤氏前掲書ニハ變質ニ解剖的、官能的、精神的、社會的ノ四種ヲ分テリ、後ノ二者ニ含ムモノノ中ニハ自ラ本文廢頽ニ合致スルモノアルヘシ。  
 6) Vgl. Bliss, The New Encyclopedia of Social Reform, 1908, p. 367.  
 7) Vgl. Grotjahn, a. a. O.  
 8) Vgl. Alfred Ploetz, Sozialpolitik und Rassenhygiene in ihren prinzipiellen Verhältnis, Archiv für Soziale Gesetzg. 17. Bd. 1902 S. 417.

殺補償セラルルコトアリ又ハ然ラサル場合アリ代ヲ逐ヒテ民衆體格ノ總平均價值又ハ所謂體位ニ昂降及落アリトスヘキハ右ノ相殺ナキ場合ニシテ开ハ恰モ亦吾人カ種屬改善アリ又ハ種屬改惡アリト謂フ場合ニ普通ニ意味スル所ナリ。其外又(3)體質ニ付廢頹ヲ説クト同様獨立ニ又ハ之ト關聯シテ心的不全ニツキ議セラルル廢頹アルハ特ニ注意スヘシ人心惟危ク道心ハ惟微ナリ世ハ澆季ニシテ人心墮落ストハ古來得テ人ノ口ノ葉ニカカリ易キ所ナルハ問ハスモカナ此點ニ付近年特ニMax S. Nordauノ著名トナリシ著書「廢頹」<sup>10)</sup>ニ立脚セル墮落觀念ハ夙ニDr. Morel, *Traité des Dégénérescences Physiques, Intellectuelles et Morales de l'Espèce Humaine et des Causes qui Produisent ces Variétés maladives*, 1857 中初メテ明確ニ説キ出サレタリトセラル其所説ニヨルニ吾人カ廢頹ニツキ編ミ得ヘキ觀念中最モ明確ナルハ之ヲ一本源典型ニ對スル病的一變異ト觀スルニアリ其偏倚ハ最初ノ間極メテ輕微ナリト雖モ其中ニハ遺傳サルヘキ諸元素ヲ含ミ又一旦之カ胚種ヲ宿サレタル者ハ其性質上世上ニ處シ益々自己ノ本分ヲ盡シ得サルニ至リ又其身ニ於テ遮キラレタル進歩ハ其子孫ニ於テモ亦益々阻害サレツツ相傳ストナス而モ亦其後多クノ學者特ニ有名ナル犯人研究L' Uomo Delinquente, 1876ノ著者トシテ先大性犯人型ヲ議セル Lombroso ニヨルハカカル廢頹トシテ顯ハルルハ瑕瑾 *Sigmata* ト呼フヘキ身體上ノ諸特質ニアリ構造ノ異常、發育ノ中途停止、失對稱等ノ如キハ然リトセルモ Nordauハ進ミテ心的瑕瑾モ亦存スルコトヲ主張シ

9) Vgl. Schallmayer, a. a. O.

10) M. S. Nordau, *Entartung*, 1893. 本邦抄譯トシテモ中島茂一氏譯「現代ノ墮落」(大日本文明協會大正三年發行)アリ。

11) 現代ノ墮落二〇頁以下參照

是等ノ瑕瑾ノ一面藝術又ハ文學ニ對スル異常ノ親愛ヲ伴フ場合特ニ墮落トシテ顯ヘルヘシ而シテカカル高尚ナル墮落ハ道理ト鮮明ナル狂氣トノ境界ニ存ストスヘク又夫等心的瑕瑾トシテ數フヘキハ道德感念及道德の秤量ノ欠缺、自我性、氣狂レ、感情性、喪心、恐怖、妄想偏愛、疑惑、宇宙ノ原因三關スル奇抜ノ憶測、神秘觀等ナリト考ヘタリ其著書ハ幾多ノ人ニヨリ輓近思想界ニ於ケル有數貢獻視セラレタルト共ニ藝術及文學ノ新形態ニ對スル薄弱ノ評論視サレ時トシテハ又盲目評視サレシカソノ内容ハ輓近ノ藝術及文學ニ於ケル有數作品ノ數多ニ關スル詳細解析タリ其結果Nordauノ見解ニヨレハ現代藝術家又學者ノ大多數ハ墮落者タルコトヲ論證セリ、凡ソ是等ノ學者カ身心ノ疾患ト速斷シ又遺傳ニ重キヲオクノ趣アルカ如キ果シテ當ヲ得タルヤ又體的瑕瑾ト心的瑕瑾ト何等ノ關係アルヘキカ評論ノ餘地ハ多シト雖モソハ今論及スヘキ限リニ非ス茲ニハ唯廢類ノ觀念ニ關聯シ是等ノ學者アルコト、本編ノ主眼トスル所心的廢類ニ非スシテ體質廢類ニ存スルコトヲ注意スレハ足レリ。

### 三

體質廢類問題ヲ種屬ニ關スル問題トシテ論セントスルハ前述ノ如シサレト先ツ茲ニ注意スヘキハ由來國民ニツキテモ亦一個人ニ於ケルカ如ク成長、繁榮、廢類、沒落ヲ説キ特ニ世界史上ニ大ナル勦ヲナセル國民ノ歴史ニツキカカル過程ヲ區別スルコトナリ、而モ亦是等ノ國民ニ關スル事

實トシテ吾人ニ傳ヘラルルモノハ通常政治、開化ノ事相ニ顯ハレタル事實ニ外ナラス徒ラニ物質的開化振興シテ精神的開化伴ハサルカタメ古代國家亡ヒ回々教ノ諸國振ハス東歐諸國ノ上流階級民富國強兵ノ道ヲ盡ス能ハス、露國ノ無資産有識階級民間ニ於テ智能徒ラニ啓發セララルルモ物質周及セサルカタメニ益々不平ノ念ヲ助長セシメタメニ露國ノ社會必スシモ健ナラスト說クカ如キ之カ一例ニ過キス、カカル事情アルカタメニ一國民ノ滅落ハ政治的衰滅(外國民ニヨル統治)又ハ開化的没落(野蠻復歸)ニ外ナラサリシモノノ如ク映シ之カ攻究ハ史學研究ノミニ屬スルモノノ如ク思ハル、素ヨリ斷片的ニハ是等開化國民ノ體格ニ關スル諸特質開化發展ノ各紀ヲ通シテ同一タラス事ト共ニ推移セルコトヲ窺ハシムヘキ材料ナシトセス古羅馬帝國末世ニ於ケル國民蕃殖率減退ノ事實ノ如キ人ノ普子ク知ル所ナルモ身體計量并ニ人口統計的觀察相應ニ信賴シ得ヘキ結果ヲ示セルハ近時ノ事實ニ過キサルヲ以テ過去ニ於ケル大開化國民ノ體質廢頹ニ關スル詳細ノ材料ハ極メテ稀ナリサレト又ツカル事實起レリトノ主張ヲ論證スルタメニハ其稀少ノ事實ニテ足レリ。

過去ノ開化國民危殆ニ瀕セル時代ニ窺ハシメシ道德上、政治上、經濟上、開化上ノ衰運ハ本源ノ現象ニシテ體質ノ廢頹第二次ノ現象トシテ之ニ續ケルカ將タ其本末ノ關係之ト反對ナリシヤハ茲ニ之ヲ究ムルヲ得ス而モ亦右兩過程ノ並行關係ハ認メ得ヘク從ヒテ是等ノ問題解決ノタメハ醫學、衛生學ノ研究モ亦其實ヲ分ツヘク統計特ニ人體計量モ亦之カ解決ニ資スルヲ勉ムルハ寧ロ至

當ナリ。

徳川ノ初代三將軍ノ深謀遠慮ヲ以テスルモ三百年ノ治ヲ保ツ能ハス清國トシテ亡ヒ中華民國トシテ生キントスル支那ハ夙ニ老境ニアリトハ人ノ往々ニシテ唱フル所タリ實ニ人類社會ハ漸進スヘキモノナリトシ又國家ノ盛衰興亡ハ長年月ヲ一巡トシテ循環スト説クノ大史觀ハ古代文明ニ起リテ漸次替廢シ現代ノ人ハ古人ニ比シ薄弱、倭小又短命ナルノミナラス人類社會狀態ハ太古ノ幸福、有徳、無病強健ノ世態ニ比シ替廢セリトス、<sup>12)</sup>ノ見解ト共ニ夙ニ起レルト共ニ國民ハ生、老、死ノ一種生理學的過程ヲ送ルヘク時到ラハ其末期ヲ迎フヘキコトモ亦自明又自然ノ成行トシテ論定サルト觀セラレシコト珍シカラス一般ニ社會有機體ト本草否一般生物トノ比喩、類推ハ啻ニ輓近社會學ノ開拓者ニヨリ賞用サレシノミナラス古來洋ノ東西共ニ經史ノ學者ニヨリ好ミテ行ハレシ所ナカラ間々謬斷ニ陥ラシメシカ右ノ類推モ亦恰モ此嫌アリ蓋シ生物體ハ各一單位タリ之ヨリ生ミ出サレシ新單位ハ分離シテ別ニ獨立ノ存在ヲ遂クヘキモ國民ハ個別個體ノ集團ナリ時々刻々死滅シ行クヘキ個體アルモ夥多ノ後繼者ハ入り來リテ之ニ代リ連綿盡クル時ナシ從ヒテ又論理上ヨリセハ國民トシテノ存在ニ永遠存續ナシトスルヲ得ス萬世一系ノ皇統ヲ戴キ瑞德國ノ國運天壤無窮ナリ得ヘキヲ夢ムルモ寧ロコハ自然ノ成行ト假定シ得ヘキヤ識者ヲ待タスシテ明カナリ「國民ハ老衰ノタメニ死セスシテ避ケ得ヘキ疾病ノタメニ死ス」トセル Franz Oppenheimerノ一語ハ

12) Vgl. G. C. Lewis, 'The Methods of Observation and Reasoning in Politics,' Vol. II, 1852 pp. 441, 446.



眞ニ至言ナリ。

## 四

經濟學ノ本流ハ由來富ノ學理トシテ進ミ來レリ然ルニ先進國ニ於テ民衆無病衛生ノ問題カ必スシモ國手ノ異名アル町醫者間ニ喧シカラスシテ經濟學者ニヨリ論議セラレ輓近殊ニ甚シカラントスルノ趣アルハ何故ソ惟フニ輓近ノ產業否一般經濟事情ト民衆ノ健否壽夭ト密接ノ關係ヲ曝露セルコト著シキハ之カ重大ノ理由タルヘシ試ミニ今少シク經濟學者其他諸學者ノ所說ヲ窺ハンカ、輓近ノ文明國ニアリテハ殆ント皆都ニ於ケル民衆聚落并ニ都ニ對スル不斷ノ移住アリ昔ハリ一びひ田舎ノ土産ヲ消耗シテ糞尿屑物ヲ田舎ノ地ニ還スコトヲ解セサル歐洲大都市ヲ大蝙蝠ニ比セルモ都ニ於テ田舎ヨリ最良ノ血ヲ吸ヒトルノ作用アリトセハソハ寧ロ都暮シニヨリ來住移民ノ體質ヲ廢頹セシムルノ作用ニ歸スヘキニ似タリ地價及之ニ伴フ屋賃ノ大騰貴ハ住居事情ヲ甚シク劣惡ナラシメ之カタメ民衆ノ健康ヲ害スコト大ナルニ似タリ從ヒテ冒險敢爲ノ精神ニ富ミ最良ノ天稟ヲ備ヘ屈強ナル體格、剛健ナル性格ヲ有スル者ハ其才幹ヲ延ハスノ地ヲ大都ニ求ムルモ其子及子ノ子ハ嘻戯シテ健康ヲ加フルナク新鮮ノ空氣ヲ吸フコトナクシテ成育シ強健ナリシ父祖ノ痕跡ヲ止ムルコトナシ現ニ敦倫ハ熟練ナル仕事ノ中心地トシテ優位ヲ占ムルモ此譽レヲ歸スヘキ匠匠中其地ニ生レシ両親ノ出タルハ渺ク其祖父母ニシテ其地ニ生レシハ殆ント存ヒス同一事情ニ

基ツキ倫敦ニ於ケル一五乃至三五歳ナル婦人ノ死亡數ハ法外ニ低キカ如キ事實ヲ認メ諸都市ニ於ケル死亡率比較ニツキテハ是等年齢級ニアル人一切ヲ省カントノ極端ナル提議ヲナセシ學者(Welton)アリ、加之工場及仕事場ニ於ケル工業ノ發達并ニ自宅労働ハ一面生命身體ノ危険ヲ加ヘタルト共ニ一面分業ノ發達ト呼應シテ健康并ニ身體ノ發育ニ害アル就業ニ當ラシムルコトトナリ市民ノ體質ヲ劣惡ナラシメツツアリ機械ノ使用トナリ労働者ヲシテ之カ一小部分ノミニ就キ作業セシメ仕事ノ單調ヲ續ケシムルカタナニ之ヲ愚鈍ナラシメカクテ個人ノ智能ヲ廢頽セシムヘシトスルノ説ハ過言ナルカ如シト雖モ機械ノ使用トナリ技術分業進ミタル結果トシテ労働者ハ童ニ過勞ヲ強ヒラレ易キノミナラス仕事ハ一事ニ偏スルコトトナレルカタメニ健康體力及生命ハ尙早ニシテ傷ハルルノ虞ハ多シ特ニ幼少者ノ身體未發育ノ度多キニ從ヒ身體ノ抵抗力ハ愈少キヲ以テ幼少者ノ労働ニ伴フ右ノ危険ハ多ク之カタメニ後繼國民ノ身體尙早ニシテ萎縮セラルル屈身セル姿勢労働ノ際ニ於ケル胸部壓迫、不潔ノ空氣内ニ於ケル仕事ハ肺結核ニ犯サルルノ特別危険ヲ伴フヘシ一部ノ筋力又ハ身體ノ一部ヲ過勞セシムルカタメニ身體各部ノ完全發育ハ妨ケラルヘシ。女子ノ體質モ亦工場労働ニヨリ害セラルルノ虞多シ健康毀傷ノ惡影響ニ對スル抵抗力ニ富マス身體ノ危害ヲ受ケ易ク又其危害ハ終生ニ及ヒ其一部ハ又子孫ニ及ホサレ次代ノ人々ヲシテ薄弱ナラシムヘシ。凡ソ是等ノ方面ニ於ケル諸弊害ハ今茲ニ詳説スヘキ限リニ非スト雖モ輒近諸國ニ於テ

13) Vgl. Marshall, Economics of Industry, pp. 115, 116; Principles of Economics, pp. 199, 200.  
 14) Vgl. C. D. Wright, Outline of Practical Sociology, 1902. p. 256; J. A. Hobson, the Evolution of Modern Capitalism, 1906. p. 342 fg.

工場事變ニ對スル保安策夙ニ施設セラレタルト共ニ職業病、労働者衛生、工場衛生ノ聲喧シキニ至リ特ニ女子、少幼年労働ノ制限行ハルルヲ見輓近労働ノ體質ニ及ホス影響淺カラサルヲ感ヒス  
ンハ非ルナリ。<sup>15)</sup>

次ニ又輓近學校制度ニヨリ身體ノ萎縮ニ貢獻シタルコト尠キニ非ス劣惡ノ空氣内ニ倚子ニ掛レル姿勢ヲ續クルコト過度ノ精神的緊張ニヨリ身體ヲ犠牲トシテ精神ノ發達ヲ計レルコト等ニヨリ少年少女ノ發育ヲ害セシメタリ男子ニアリテハ兵役ノ義務アリ之ニ就クカタメニ其健康ヲ保全補充セシムルノ功ナシトセサルカ如キモ女子ニアリテハ其事ナシ女學校ニ於テ智育ニ馳セラ體育ヲ忽カニセルカタメニ終生ニ及フヘキ婦人病ノ胚子ヲ蒔カルコト多キハ外國ニモ其例アリ吾人ハ此點ニツキテモ亦茲ニ詳説ヲ試ミスト雖モ十有五年前好著「日本健體小兒ノ發育論」ヲ著ハシ「日本ハ小兒ノ樂園ナリ」「本邦小兒ノ發育ハ生理上極メテ順當ナルモ」「前ニ早熟ナルモノ後ニ早衰ナル」生物界全般ノ常規ニ從ヒ「本邦人ハ早熟ニシテ且ツ早衰ナル人種」ナリトノ信條ヲ吐露サレシ三島通良氏カ夙ニ其十年前乃チ明治二十六年ニ一書ヲ著ハシ維新後普通教育ノ方針ヲ執リ「教授ノ方法、教科書等著ク改正進歩」セルモ「創業急進ノ際ニ當リ萬事歐米ノ方法ヲ模倣」セルヨリ「衛生ノ原則ニ反戾」シ「遂ニ蒼顏纖手ヲ以テ學者ノ模型ト爲シ近眼瘦衰セル者ヲ以テ學士ノ雛形ト爲スニ至」レリト論シ學校衛生ノ振興ヲ痛論セラレシコトヲ特ニ擧ケント欲ス。<sup>17)</sup>

15) Vgl. J. Conrad, Volkswirtschaftspolitik, 4. Aufl. 1904. ss. 505, 263 fig.

16) Vgl. Conrad, a. a. O. S. 505; Nationalökonomie, 6. Anfl. 1907 S. 33.

17) 本文引用書二四二、二五〇頁。學校衛生學一〇頁參照

其外尙現代ノ齎セル諸元素アリ乃チ開化ノ度高キ國々ノ生存競争ハ精神界ニ移サレタルト共ニ  
だういんカ動物ニツキテ説ケルカ如キ自然淘汰ハ別異ノ性質ヲ帶フルコトナレリ詳言スレハ  
原民ニアリテハ不具、薄弱ナル子ハ死ニ致サレ人ノ全生涯ハ絶エス劇烈ナル體力緊張ヲ必要ナラ  
シメ必要體力具ハラサル者ハタメニ倒サレタリ從ヒテ體質強壯ナル者ノミ高齡ニ達シ其諸特質ヲ  
蕃殖遺傳セシメタリ其後ノ發達ニヨルモ經濟上ノ給付能力ヲ決スルモノ體力ニ存セシ間ハ身體  
上ノ強者ノミ相當ノ地位ニ上リ又家ヲ樹テ得タリ。然ルニ現代ニ至リテ凡テ是等ノ事情ニ變化ヲ  
及ホシタリ耶蘇教ノ教及風習ニヨレハ孱弱ナル子、憐レムヘキ不具者ヲモ大切ニ取扱ヒツツ其生  
命ヲ維持シ之ヲ成人セシムヘシトナセルト共ニ醫師モ亦人爲的ニ之ニ助勢シ從前ナラハ普通ニ死  
スヘカリシ者ヲモ存命セシムルコトナレリ加之體力ハ經濟上ノ給付能力ヲ左右スルノ主力タラ  
ス人力其モノハ益々道具、機械、諸動力ニヨリ補助代用セラレ精神上ノ給付能力ハ經濟的成功ノタ  
メ重キヲナスニ至リ其廣キ範圍ニアリテハ之ノミニヨリ決セララルニ至レリ不具者、薄弱者モ亦  
特殊手工業、工場經營ニ就キ就職ノ口ヲ發見シ身ヲ養フト共ニ家庭ヲ結ヒ其特質ヲ遺傳セシメ得  
ヘキコトトナレリ此最後ノ點ニツキテハ輓近特ニ醫學衛生ノ發達ニヨリ薄弱ナル分子ニモ亦蕃殖  
ノ可能ヲ遂ゲシムルコト假令ハ狹キ骨盤ヲ有セル産婦ニ人工的早産ヲ施シ其特質ノ遺傳及普及ニ  
資スルカ如キ實例ニヨリ其風潮ヲ助長セリト言フヘク此作用ハ未開國ニ之ヲ見ス見ルモ文明國ト

同程度ニ之ヲ見ス又右ノ非難ハ元來個人衛生ヲ主トセル從來ノ衛生的努力ニ對シテ加ヘラルル所ナルモカノ衛生的關化ノ普遍化ヲ目的トシ多數ノ人又ハ一切ノ人々ヲ衛生的救護ノ下ニ羅致セントスル輓近社會衛生ニ對シテハ一層正當トスヘキニ非スマヤトハ輓近種屬改良論者特ニHaycraftノ熱心ニ説ケル所タリ<sup>18)</sup>氏ハ其著 Darwinism and Race Progress, 2. ed. 1900(獨譯 Natürliche Anlese und Rassenverbesserung, übers. v. Kurella, 1895) 中恰モ主トシテ體質弱キ者ヲ犯シテ從ヒテ又人類ニ淘汰ノ效果ヲ及ホスヘキ疾病假令ハ勞症、腺病ノ減少アリサレハ他ノ方面ニ於テ相當ノ改良ヲ遂クルニ非スンハ人類ニ及ホサル禍害アリトシテ右ノ事實ニ重キヲオキタリサレト又勞症ハ其犠牲者ヲ悉ク殺スカ如キコトナシ其疾病ニヨリ其犠牲者ヲ弱ムルノ力ヲ輕減スル點ニ於テハ文明ニ伴フ多少ノ純利益ヲ認ムヘク種屬トシテ生得低能ノ遺傳助長中衛生ノ罪ニ歸スヘキモノニヨリ受クル損害ハ後天的低能減少ノ利益ニヨリ償ヒ得テ餘リアルコトヲ注意スヘシ其外又薄弱及慢性病氣ハ多クハ遺傳的生得低能ノ結果タラスシテ寧ロ瘧病(結核、腺病、佝僂病)又ハ少年時ニ於ケル營養不良ノ結果タルコトヲモ注意スヘシ<sup>19)</sup> 其外又自然淘汰詳言スレハ割合ニ弱キ人ノ大死亡數ヲ抑壓スヘキ諸法律ハ須ラク之ヲ廢シカクテ是等ノ人々過多ノ蕃殖ヲ遂ケ之ニヨリ體質上低能ナル者ヲ過多ニ増スノ弊ヲ去ルヘキニ非スマヤトハ屢々唱ヘラルル所ナリ救貧事業ノ擴張特ニ獨逸ノ社會政策的法制就中社會保險特ニ又結核病者ノ救護ハ種屬ノ惡化ヲ助長スルモノニ非スマヤトハ間々疑ハレシ點ナリサレト此點ニツキGrotjahn, Schallmayer, Ploetzノ如キ有數ノ學者ハ一齊ニ明言シタリ開化上人道上前進歩ヲ制限スルハ謂レナキコトナリト特ニ Heinz Pothoffカ此問題ヲ極メテ明確ニ取扱ヘル所ニヨルニ社會的立法ハ「生物學上良好又強壯タルモ經濟上ニ

18) Vgl. Prinzing, Handbuch der mediz. Statistik, 1906. S. 256.

19) Vgl. Marshall, Principles, p. 200; Prinzing, a. a. O. ss. 256, 257.

於テノミ薄弱タルカ經濟的弱者タルカタメニ其良生存力ヲ延ハシ得サル人々ヲ保持シ助成スルタメ」必要ナリ事實上良資質ヲ有セル人々ノ多數カ長キ勞動時間ニヨリ急ニ其生存力ヲ消耗シ高キ食料代價ニヨリ營養不足トナリ疾病ノ際ニ何等適切ナル看護ヲ受ケストセンカ何ノ利カコレアラシ戰場ニ於ケル砲丸ハ最良ノ兵士ヲモ容赦セス經濟上ノ災厄ハ優良體質ノ人ニモ其痕跡ヲ殘サスニハ過キ行カス加之經濟的窮迫ノタメニ良資質ヲ有セル人モ未タ蕃殖ノ機會ヲ得サルニ夭折スルコトモアルヘシ子孫カ遺傳サレ生得シタル瑕瑾ヲ伴フコトヲ出來ルタケ少カラシムルタメ使用シ得ヘキ一切ノ方便ヲ盡スヘキヤ確カナリト雖モ若シ吾人カ現在ノ社會衛生的諸施設ヲ益々擴張スル代リニ之カ全廢ニ勉メタリトセハ我國民體ニ許スヘカラサル掠奪作「Unverzeihlicher Raubbau」ヲ行フ 譏アラシ「種屬改善カ社會衛生カ」ノ問題ニ對シテハ「種屬改善並ニ社會衛生ヨ」ト答フルノ一路アルノミ<sup>20)</sup> 其外又開化發達ノ一面ニハ悅フヘキ自然ノ傾向ナキニシモ非ス乃チ開化ノ度進メルモノニアリテハ上級階級ハ普通ニ晚婚タリ其結果トシテ勞動者階級ニ比シ子少キモ勞動者階級其モノノ間ニハ原民時代ノ規則依然トシテ行ハルルノ事實アルカタメニ之カ補償作用ヲ遂ク詳言スレハ國民ノ氣力ハ上級階級間ニ挫折サルルノ傾向アルモ絶エス下ヨリ湧キ出ツル強壯ノ新流ニヨリ補ハル、唯佛國ニアリテハ永年ノ間、英米ニアリテハ近年ニ至リ勞動者中有爲ニシテ又智能ニ富メル分子間ニ大親族ノ保持ヲ好マサルノ徵幾分カ存スルハ大危險ノ根源タリ。<sup>21)</sup>

20) Vgl. Fischer, a. a. O. ss' 165, 166.

21) Vgl. Marshal, Industry, p. 117 ; Principles p. 201.

要スルニ一般體質廢頹既ニ前世紀中ニ起レルヤ或ハ其廢頹ハ市民又ハ有識階級ノ一部ニ限ラルルヤ又此廢頹ハ市住民ノ減少並ニ地方民ニヨルカ補充ニヨリテ平衡サルルヤノ問題ハ問題トシテ殘存スルニ似タリ下層階級民ノ福祉増進及衛生的生存條件ノ改善ニヨリ主要文明國ニ於ケル下層民ノ體質ハ目撃セル所改善セラレタルカ如キモ之ヲ確證スヘキ材料備ハサルニ似タリ現在確言シ得ヘキ所ニテハ從來一般廢頹アリト實證シ得ヘキ事績ナシ唯カカル危險アル疑ヲ入レストスヘキコトニ過キスカノ廢頹ヲ以テ自然法的ニ又無條件ニ開化ノ發達ニ伴フヘシトスルノ學說ハ必スシモ眞ナラス種屬改良ヲ論スル學者だういんノ淘汰論ヲ出發點トシ今日尙未開拓ナル體質廢頹ノ範圍ヲ究メントシテ踏ミ入レル途ニハ問題ニ重ヌルニ問題ヲ以テシ萬人ニ通用スヘキ學說今尙存セサルニ似タリ近年ニ至リ此學理ニ固有ノ經驗的基礎ヲ授ケントスルノ悅フヘキ道ハ開カレタリ材料ハ生物學、經濟學ノ諸方面ヨリ有意無意ニ授ケラレ經濟學者統計學者間ニ於テ全國民ノ動靜ニ關スル統計的研究ハ促サレタリ從來偏面的ニ力說サレシ病理的解剖的及微生物學的研究ノ外ニ組織病理學ノ復活トナリ體質廢頹ノ問題ヲモ取扱フニ至レルハ輓近醫學ノ新風潮タルニ似タリ現今體質廢頹ノ學理又ハ廢頹現象ノ學問アリト言ハンヨリモ寧ロ廢頹問題アリト説クハ寧ロ至當ナリ吾人ハ以下此問題ノ暗黒範圍ニ向ヒ諸點ヨリ踏ミ入ルヘキ至要ノ道ヲ一層詳細ニ探查論評セント欲ス

c22)